



トレンド・フォロー・オープン（積極型）

お客様用資料/月次

追加型投信/内外/その他資産

平成23年12月30日現在
ユナイテッド投信投資顧問

詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込の詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

ファンドの特色

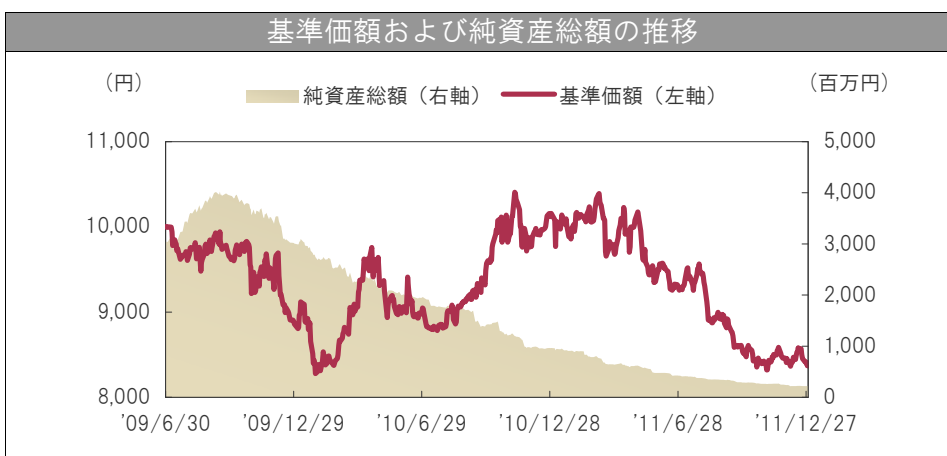
「トランストrend・エンハンスド・リスク・シリーズ・トラスト・クラスA TER ユニット」の基本投資配分比率を95%、「ユナイテッド日本債券ベビーファンド(適格機関投資家向け)」の基本投資配分比率を5%として、信託財産の中長期的な成長を目指します。株価指数・債券・通貨や原油・金属・農産物など、世界各国の取引所に上場されている様々な先物を実質的な投資対象とし、積極的に分散投資を行います。トレンド・フォロー戦略により、相場の上昇時だけでなく、下落時でも収益の獲得を目指すファンドに投資を行います。

運用実績

ファンドの概況	
基準価額	8,400 円
純資産総額	218 百万円
設定日	平成21年6月30日
決算日	毎年4月15日

ファンドの内訳	
トランストrend・エンハンスド・リスク・シリーズ・トラスト・クラスA TER ユニット	83.3%
ユナイテッド日本債券ベビーファンド(適格機関投資家向け)	7.9%
現金等	8.7%
合計	100.0%

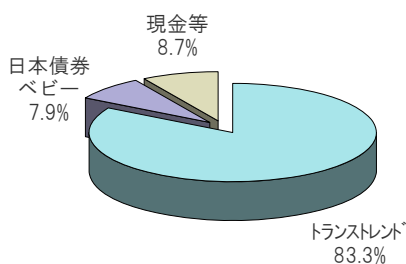
期間収益率	
1ヶ月	-0.63%
3ヶ月	-1.52%
6ヶ月	-9.25%
1年	-17.31%
3年	-
設定来	-16.00%



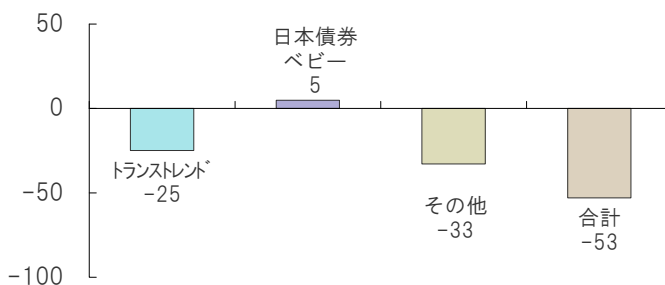
分配実績 (設定来合計 0円)	
第1期 (平成22年4月15日)	0円
第2期 (平成23年4月15日)	0円
第3期 (平成24年4月16日)	-

*基準価額は、信託報酬(年率概算(税込)4.3075%±0.2%)控除後の値です。決算日が休業日の場合は翌営業日となります。ファンドの内訳は小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります。分配実績は直近3期分を記載しております。

ファンドの内訳



ファンド別寄与 (円)



*各グラフのファンド名称は省略して記載しております。「トランストrend」:トランストrend・エンハンスド・リスク・シリーズ・トラスト・クラスA TER ユニット、「日本債券ベビー」:ユナイテッド日本債券ベビーファンド(適格機関投資家向け)

マンスリー・コメント

当ファンドの12月の騰落率は▲0.63%となりました。基準価額への影響を組入れファンド別にみると、「トランストrend・エンハンスド・リスク・シリーズ・トラスト・クラスA TER ユニット」が▲25円、「ユナイテッド日本債券ベビーファンド(適格機関投資家向け)」が+5円の寄与となりました。

「トランストrend・エンハンスド・リスク・シリーズ・トラスト・クラスA TER ユニット」をセクター別にみると、商品、為替、金利セクターがプラスに寄与したものの、株式セクターがマイナスに寄与したことから、トータルでは▲0.49%となりました。「ユナイテッド日本債券ベビーファンド(適格機関投資家向け)」は、+0.75%のプラスリターンとなりました。

当資料は、ユナイテッド投信投資顧問が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当資料中の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。投資した資産価値の増減は全て受益者の皆様に帰属します。投資に関する最終決定は必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧の上、ご自身でご判断ください。



トレンド・フォロー・オープン（積極型）

追加型投信／内外／その他資産

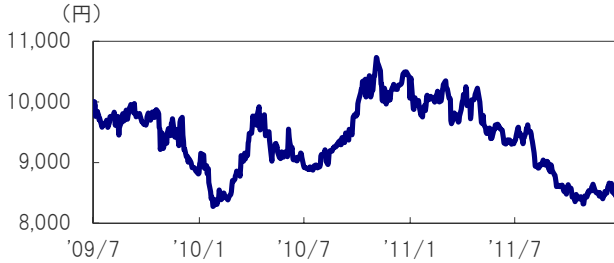
お客様用資料／月次

平成23年12月30日現在
ユニテッド投信投資顧問

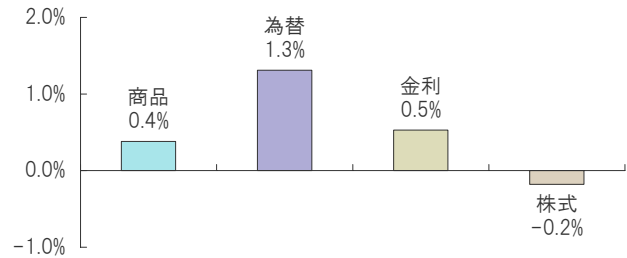
「トランストrend・エンハンスト・リスク・シリーズ・トラスト・クラスA TER ユニット」の資産状況

* 「トランストrend・エンハンスト・リスク・シリーズ・トラスト・クラスA TER ユニット」の平成23年12月30日現在の基準価額は、当ファンドの平成24年1月5日の基準価額に反映されております。

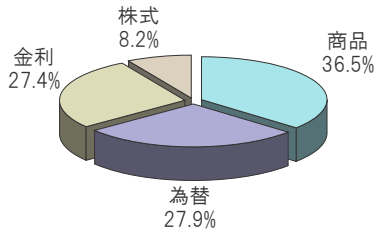
■基準価額の推移



■セクター別月間収益率*1



■セクター別平均リスク配分



■寄与度上位・下位品目別月間収益率*1

	品目		損益
	品目	損益	
上位	天然ガス	2.37%	
	ユーロ/ドル	0.96%	
	独10年国債	0.42%	
	英長期国債	0.25%	
	ユーリボー	0.25%	

■組入れ上位品目（リスク配分）

品目	買/売	比率*2
天然ガス	売	10.0%
独10年国債	買	8.4%
ユーロ/ドル	売	8.2%
砂糖	売	4.6%
ニュージーランドドル	買	3.6%

	品目		損益
	品目	損益	
下位	トウモロコシ	-0.56%	
	独30年国債	-0.48%	
	小麦	-0.38%	
	軽油	-0.37%	
	小麦（カンザス）	-0.30%	

・ 出所：Robeco Institutional Asset Management B.V

*1 収益率はグロスリターン（運用報酬控除前）の数値です。*2 比率はRobeco Institutional Asset Management B.Vのデータを基にユニテッド投信投資顧問で算出したものです。

マンスリー・コメント

12月の当ファンドのリターンはマイナスとなりました。12月、当ファンドは主に2つの主要ポジションを構築しました。1つ目は非欧州通貨のロングに対する欧州通貨のショートであり、金利セクターや株式セクターにおいても合成ポジションによりこれを間接的に保有しました。2つ目の主要ポジションは多くの商品市場における価格下落を想定したものでした。当月はこの2つの主要ポジションからの利益がプラス寄与となりました。一方で、月初、商品セクターにおいて貴金属、原油及び原油派生商品のロングポジションを採用していたこと等はマイナスに寄与しました。

<商品> 商品セクターはファンドにプラス寄与となりました。月初に当セクターが採用した貴金属、原油及び原油派生商品のロングポジションはマイナスに寄与しました。しかし、天然ガスや石炭、電力、排出権等のエネルギー市場及び金属、ココア等のショートポジションはプラスに寄与しました。

<為替> 為替セクターはファンドにプラス寄与となりました。米ドル/ユーロ等、非欧州通貨のロングポジションに対する欧州通貨のショートポジションはプラス寄与となりました。

<金利> 金利セクターはファンドにプラス寄与となりました。北朝鮮の金正日総書記の死去後は韓国債券市場でボラティリティが高まる展開となりましたが、影響は軽微に留まりました。多くの債券市場で金利下落基調が見られ、スイス、ドイツ、英国及び米国の長期債に対するポジションはプラスに寄与しました。

<株式> 株式セクターはファンドにマイナス寄与となりました。全体としては大きなトレンドが見られない中、中国株式市場の下落、欧州のヘルスクエア及び食品セクターの上昇及び米国株式市場の上昇はプラスに寄与しましたが、その他の株式市場でのポジションはマイナスに寄与しました。

当資料は、ユニテッド投信投資顧問が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当資料中の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。投資した資産価値の増減は全て受益者の皆様に帰属します。投資に関する最終決定は必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧の上、ご自身でご判断ください。



トレンド・フォロー・オープン（積極型）

追加型投信／内外／その他資産

お客様用資料／月次

平成23年12月30日現在
ユナイテッド投信投資顧問

「ユナイテッド日本債券ベビーファンド（適格機関投資家向け）」の資産状況

*「ユナイテッド日本債券ベビーファンド（適格機関投資家向け）」の平成23年12月30日現在の基準価額は、当ファンドの平成24年1月4日の基準価額に反映されております。

■基準価額の推移



■組入れ上位銘柄

	銘柄名	比率
1	第272回利付国債(10年) 2015年9月償還	16.4%
2	第109回利付国債(20年) 2029年3月償還	16.4%
3	ドン・キホーテ第5回無担保社債 2016年3月償還	16.0%
4	第56回貸付債権担保住宅金融支援機構債券 2047年1月償還	15.8%
5	第498回東京電力株式会社社債 2012年12月償還	14.7%
6	第58回利付国債(20年) 2022年9月償還	8.6%
7	第30回利付国債(30年) 2039年3月償還	6.9%
8	-	-
9	-	-
10	-	-

*比率は「ユナイテッド日本債券マザーファンド」の純資産総額に対する比率です。

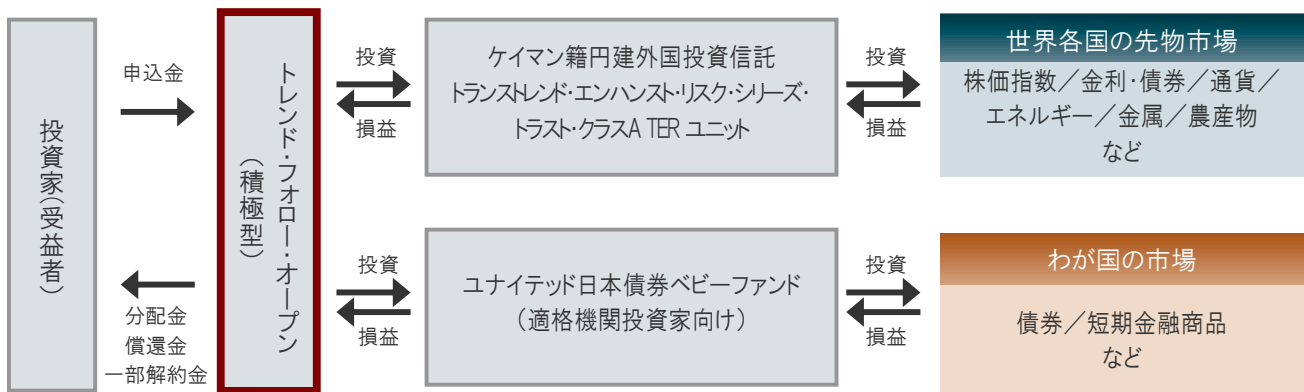
マンスリー・コメント

日本債券市場は金利が低下しました。月初は、11月の後半に金利が急騰した影響を受けて、新発10年物国債利回りは1.05%を超える水準で推移しました。しかし、注目されていたEU(欧州連合)首脳会議で財政規律強化が合意されたもののECB(欧州中央銀行)による国債購入の拡大が見送られると、債券市場では利回りが低下基調となり、新発10年物国債利回りは、再び1%割れの水準となりました。月の後半に入っても、外国為替市場でユーロ円が約10年ぶりの円高水準となったこと等から利回りは低位で推移しました。その結果、月末の新発10年物国債利回りは0.99%となり、前月比では▲0.08%低下しました。当ベビーファンドは、ベンチマーク(NOMURA-BPI総合指数)をアウトパフォームしました。

ファンドの特色

- 1 株価指数・債券・通貨や原油・金属・農産物など、世界各国の取引所に上場されている様々な先物を実質的な投資対象とし、積極的に分散投資を行います。
- 2 トrend・Follow戦略により、相場の上昇時だけでなく、下落時でも収益の獲得を目指すファンドに投資を行います。
- 3 ファンド・オブ・ファンズ方式により、基本投資配分比率を「トランストrend・エンハンスト・リスク・シリーズ・トラスト・クラスA TER ユニット」95%、「ユナイテッド日本債券ベビーファンド(適格機関投資家向け)」5%とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。

◆「トランストrend・エンハンスト・リスク・シリーズ・トラスト・クラスA TER ユニット」は、トランストrend社の運用プログラムを用いて世界各国の先物市場等へ分散投資を行う円建ての外国投資信託(為替ヘッジあり)です。
 ◆「ユナイテッド日本債券ベビーファンド(適格機関投資家向け)」は、マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主としてわが国の債券に投資を行います。



(注)市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行えない場合があります。

当資料は、ユナイテッド投信投資顧問が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当資料中の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。投資した資産価値の増減は全て受益者の皆様に帰属します。投資に関する最終決定は必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧の上、ご自身でご判断ください。



投資リスク

- ・投資家の皆様におかれましては、投資信託説明書（交付目論見書）をよくお読みいただき、当ファンドのリスクを十分ご理解のうえお申込みいただきますようお願い申し上げます。
- ・当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に債券など値動きのある有価証券ならびに世界各国の取引所に上場されている様々な先物取引等デリバティブ取引を行いますので、当ファンドの基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- ・当ファンドおよび当ファンドが投資する投資信託証券の基準価額の変動要因の主なものは、以下の通りです。

○価格変動リスク

当ファンドは、投資信託証券を通じて、債券などの有価証券への投資ならびに先物取引等デリバティブ取引および為替取引を行いますので、組入れ資産の値動き、市場金利の変動、先物取引等デリバティブ取引に伴う相手方の財務状態等の変化ならびにこれらに関連する外部評価の変化および為替相場の変動等の影響を受け、当ファンドの基準価額が値下がりする場合があります。

○金利変動リスク

当ファンドは、投資信託証券を通じて、債券に投資しますので、金利変動の影響を受けます。一般に金利が上昇した場合には、既に発行され流通している債券の価格は下落します。また、残存期間の長い債券の方が短い債券より金利変動が債券価格に与える影響が大きい傾向にあります。したがって、金利上昇は、当ファンドが投資する投資信託証券の基準価額に影響を及ぼし、当ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

○信用リスク

有価証券の発行体において、経営不振、その他の理由により債務不履行が発生した場合、またはそうした事態が予測される場合等には、当該発行体が発行する有価証券の価格は大きく下落し、当ファンドの基準価額が値下がりすることがあります。

○流動性リスク

組入れ有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場規模の縮小や市場動向によっては、組入れ有価証券が当初期待される価格においてもしくは機動的に売買できないことがあり、当ファンドの基準価額に悪影響を及ぼすことがあります。また、当ファンドが投資する外国投資信託証券における取得申込みおよび解約（換金）請求は、原則として週次で行われますので、お申込みもしくは解約（換金）できない事態が発生した場合には、当ファンドの運用に支障をきたす可能性があります。

○為替変動リスク

当ファンドが投資する外国投資信託証券は、為替（通貨）そのものを取引の対象としているため、為替相場の変動による影響を受けます。為替相場は短期間に大幅に変動することがあり、当ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。為替相場は、一般に、外国為替市場の需給関係、世界各国への投資メリットの差異、金利の変動もしくはその他の様々な国際的要因により変動します。また、為替相場は、各国政府・中央銀行による介入、通貨管理規制等の政策的な要因によっても変動する場合があります。

○デリバティブ取引に伴うリスク

当ファンドは、投資信託証券を通じて、デリバティブ取引を行います。一般にデリバティブ取引は少額の投資資金で、その数倍の取引を行うことが可能です。したがって、当該デリバティブ取引においては、小さな値動きも、即時かつ多額の利益または損失をもたらす可能性があります。また、流動性に欠ける場合には、清算できない可能性があります。なお、当ファンドが投資する外国投資信託証券においては、商品先物取引を行います。商品先物取引は、さまざまな要因（商品の需給関係の変化、天候、農業生産、為替相場、金利の変動および政治的・経済的事由等）に基づいて変化するため有価証券関連の先物取引等とは値動きが異なります。

○売建てによる運用に伴うリスク

当ファンドが投資する外国投資信託証券においては、売建ても行います。売建てとは、先物や先渡市場で、売建てを行い、後日、それらが値下がりした時点で反対売買を行うことで利益を得ることを期待して行う取引です。売建ての投資対象の価格が下落する時には利益が生じますが、値上りする場合、損失を被るリスクを伴います。

○解約による資金流出に伴うリスク

一部解約金の支払資金を手当てするために、当ファンドが投資している投資信託証券が組入れている有価証券等を大量に売却する場合があります。この場合、市場規模や市場動向によっては、有価証券等を当初期待された価格で売却できないことがあり、当ファンドが投資する投資信託証券および当ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、主要投資対象とする投資信託証券に対し、多額の追加設定、一部解約等がなされた場合の資金動向により、当ファンドの基準価額や運用が影響を受ける場合があります。

（ご注意）以上は、基準価額の主な変動要因であり、変動要因はこれに限られるものではありません。



トレンド・フォロー・オープン（積極型）

追加型投信／内外／その他資産

お客様用資料／月次

平成23年12月30日現在
ユナイテッド投信投資顧問

お申込みメモ

- 取得申込・解約請求の受付：原則として、毎週木曜日に取得・解約の受付を行います。ただし、海外の休日の関係上受付できない場合がありますので、詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
- お申込み単位：500万口以上1口単位もしくは500万円以上1円単位として販売会社が定める単位
- お申込み価額：お申込み受付日の翌営業日の基準価額（当初募集期間は1口あたり1円）
- ご解約価額：ご解約受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額とします。ご解約代金は、原則として、ご解約受付日から起算して9営業日目からお支払いします。
- 信託期間：約10年（平成21年6月30日より平成31年10月15日まで）
- 決算日：年1回、毎年4月15日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配：毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないことがあります。
- 課税関係：原則として、収益分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して所定の税率により課税されます。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
- クーリングオフ：当ファンドのお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

ファンドにかかる費用等（お客様には以下の費用をご負担いただきます）

■お申込み時に直接ご負担いただく費用

- お申込み手数料：お申込み価額に対して上限5.25%（税込）
販売会社によって異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にお問合わせください。

■ご解約時に直接ご負担いただく費用

- 解約手数料：ありません。
- 信託財産留保額：ご解約受付日の翌営業日の基準価額に対して0.5%を乗じて得た額

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

- 信託報酬：純資産総額に対して年率1.827%（税込）を乗じて得た額
- 投資対象ファンドに係る信託報酬等：
「トランストrend・エンハンス・リスク・シリーズ・トラスト・クラスA TER ユニット」……………年率2.60%
「ユナイテッド日本債券ベビーファンド（適格機関投資家向け）」……………年率0.21%（税込）
※「トランストrend・エンハンス・リスク・シリーズ・トラスト・クラスA TER ユニット」において、毎月の運用実績のハイ・ウオーターマーク超過分に対して20%の実績報酬がかかります。

信託報酬率に投資対象ファンドに係る信託報酬等を加えた、実質的な信託報酬率の概算値は、年率4.3075%（税込）となります。 ※ただし、この値はあくまでも目安であり、当ファンドの実際の投資信託証券の組入れ状況等によって±0.2%程度変動します。

- その他の費用・手数料：
●有価証券取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）
●信託財産に関する租税
●監査費用（消費税相当額を含みます。）
●諸費用（目論見書の作成費用など）
①目論見書などの作成および交付に関する費用、②運用報告書の作成および交付に係る費用、③計理およびこれに付随する業務に係る費用、④公告に係る費用、⑤法律顧問および税務顧問に対する報酬および費用など
なお、投資対象の投資信託証券においても同様の費用がかかり、当該投資信託証券の信託財産から支払われます。
※これらの費用等は、運用の状況等により変動するため、料率、上限率等をあらかじめ表示することが出来ません。

委託会社およびその他の関係法人

- 委託会社：ユナイテッド投信投資顧問株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第414号
(社)投資信託協会会員 (社)日本証券投資顧問業協会会員
信託財産の運用指図等を行います。
- 受託会社：株式会社りそな銀行(再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
信託財産の管理業務等を行います。
- 販売会社：受益権の募集の取扱い・販売を行い、投資信託説明書（交付目論見書）および運用報告書の交付、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金の支払い、収益分配金の再投資および償還金の支払いに関する事務等を行います。

委託会社の電話番号 03-5542-7150(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)
委託会社のインターネット・ホームページ <http://www.unitedinv.co.jp/>

当資料は、ユナイテッド投信投資顧問が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当資料中の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。投資した資産価値の増減は全て受益者の皆様に帰属します。投資に関する最終決定は必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。



トレンド・フォロー・オープン（積極型）

追加型投信／内外／その他資産

お客様用資料／月次

平成23年12月30日現在
ユナイテッド投信投資顧問

販売会社一覧（五十音順）

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	社団法人 日本証券 投資顧問業協会	社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
おきなわ証券 株式会社	金融商品取引業者	沖縄総合事務局長 （金商）第1号	●			
スターツ証券 株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 （金商）第99号	●			
日本アジア証券 株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 （金商）第134号	●			
三田証券 株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 （金商）第175号	●		●	

※加入している金融商品取引業協会を●で表示しています。上記の表は、ユナイテッド投信投資顧問が基準日時点で知りうる信頼性が高いと判断した情報等から細心の注意を払い作成したものです。その正確性、完全性を保証するものではありません。

当資料は、ユナイテッド投信投資顧問が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当資料中の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。投資した資産価値の増減は全て受益者の皆様に帰属します。投資に関する最終決定は必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧の上、ご自身でご判断ください。